

静岡県近代史研究会

会 報

3 月
2025 年 10 日
月刊第 558 号

< 3 月例会レジュメ >

富士郡における戦後の高校改革について

—静岡県立富士高等学校を中心に—

渡邊正太郎

本研究は、富士郡における旧制中等教育機関の新制高等学校の移行の過程について、「高校三原則」を中心にみていく考察である。報告では、原口賞への応募論文の後続研究として行なった、各高校の男女共学化の過程についても検討していく。

筆者は今年度より富士高校新聞部の部長を務めている。本研究は、新聞部に伝わった『富士高新聞』の縮刷版をはじめとする、校内新聞などの史料を活用した研究を試みたことにはじまる。『富士高新聞』の創刊号が発行されたのは旧制富士中学校時代の昭和 22（1947）年のことで、当初は『学友新聞』という名称であった。初期の校内新聞の紙面に頻出するテーマとして「高校改革」があり、富士郡における高校改革の過程を明らかにすることができる貴重な資料となっている。

高校改革は「高校三原則」という学区制、総合制、男女共学制というものを原則として進められた。これは、従来の中教育機関である旧制中学校や高等女学校、実業学校の間で教育格差を是正し、公立高校の平準化と地域性を図ることが目的とされた。富士高校においても、県でききがけて男女共学制を実施したり、総合制高校にむけて商業科を設置したりと様々な改革が行なわれており、それらは逐一校内新聞の記事にされた。

富士郡に所在する高校の改革を主導したのは、「富士地区新学制促進協議会」という組織であった。メンバーには当時の旧制富士中学校長であった寺田誠一をはじめとして、多数の富士高校関係者が名を連ねている。協議会での議論は『富士ニュース』等のローカル紙に掲載され、ある程度その内容が明らかになっている。ここでは高校への移行問題に加えて、定時制・夜間制過程の設置も議論されていた。

富士高校の校内新聞にみられた高校改革の記事をみるに、特に生徒らの関心を集めたのは男女共学化の問題であったようである。生徒・教員へのイン

いろいろやったなかで、生徒からの受けが良かったのは、Youtubeなどで関連する動画を探しだして、それを概要把握のために見せたことです。Youtube以外に、NHKアーカイブスにも戦争関連の動画がたくさんありますから、これらは利用する価値があると思います。他にも国立国会図書館や国立公文書館などデジタルアーカイブが増えましたから、動画以外の資料も見せることができるので、現在は教材として利用できるものがとても多いですので、うまく使えるとかなり良いと思います。ますます教材研究が重要になりますし、歴史の教員としての腕の見せ所と言えるでしょう。

「歴史総合」はきちっと取り組めば、かなりやりがいのある科目だと思います。高校での歴史の必修科目は「歴史総合」だけですから、選択で日本史探究や世界史探究を取らない生徒にとっては、歴史を学ぶ最後の機会になるわけです。「歴史総合」を通じて、歴史のおもしろさを伝えることができるように、今後もいろいろと工夫をしていこうと思います。

例会のお知らせ

< 3月例会 >

日時：3月15日（土）14:00～17:00

場所：Web会議システム ZOOM/鎌倉文庫

申込方法：本誌2ページをご覧ください。

報告者：渡邊正太郎氏（会員）

内 容：富士郡における戦後の高校改革について—静岡県立富士高等学校を中心に—

< 4月例会 >

日時：4月19日（土）14:00～17:00

場所：Web会議システム ZOOM/鎌倉文庫

申込方法：4月会報に掲載します。

報告者：西山雄大氏（静岡文化芸術大学）

内 容：沼津市防火建築帯に関する建築資料の調査から見えてくること（仮）

< 会報に原稿をお寄せください >

会報原稿は、下記のアドレスにメールで送ってください。但し、掲載号については会報編集担当者にお任せください。どうぞよろしくお願いいたします。

メールアドレス：cqh00053@nifty.ne.jp
（会報編集担当：川上）

静岡県近代史研究会会報 第558号（月刊）

2025年3月10日

非売品（非会員は印刷実費100円）

連絡先 〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1

静岡県立大学 国際関係学部 森山優研究室

電話：054-264-5386（直通）

年会費：4,000円（メール会員は3,500円）

ゆうちょ銀行払込口座：00850-6-54573

ホームページ：

<https://shizuokakenkindaishi.wordpress.com/>